

平成22年（行ウ）第508号 国籍確認等請求事件

原告









被告 国

証拠説明書 (1)

平成22年12月14日

東京地方裁判所民事第3部B2係 御中

被告指定代理人

宇	波	なほ	美	
増	田	勝	義	
矢	部	博	志	
石	井	博	之	
江	森	久	子	
藤	原	昌	子	
椎	名	芳	広	

号証 番号	標 目 (作成者)	目	作成 年月日	立証趣旨
乙1	平和条約発効に伴う 朝鮮人、台湾人等に 関する国籍及び戸籍 事務の処理 「昭和27年4月1 9日付け民事甲第4 38号法務府民事局 長通達」 (民事局長)	写し	昭和 27.4.19	左記通達第1(1)において「朝 鮮及び台湾は、条約の発効の 日から日本国の領土から分離 することとなるので、これに 伴い、朝鮮人及び台湾人は、 内地に在住している者を含め てすべて日本の国籍を喪失す る。」とされていること。
乙2	国籍に関する臨時条 例 「1948年5月1 1日法律第11号」 (南朝鮮過渡政府)	写し	昭和 23.5.11	左記条例が「外国の国籍又は 日本の戸籍を取得した者であ つてその国籍を抛棄するか又 は日本の国籍を離脱する者は 檀紀4278年(引用者注： 昭和20年)8月9日以前に 朝鮮の国籍を回復したものと 看做す。」とされていること。